

日本共産党  
市議会報告

明るい米子

2012年11月  
日本共産党米子市議会議員団／発行  
米子市加茂町1-1 電話23-5517(直通)

開かれた議会に逆行する動き許すな

議員定数・議会改革等調査特別委員会では、議員や議会の基本を定める「議会基本条例」の制定をめざして論議を重ねています。しかし、条例制定の目的とする「市民に開かれた議会」に逆行する動きも出ています。その一つが、「交渉会派」の要件を現行の3人から4人へと、“ハードル”を上げようとしていること。結局は、共産党市議団3人を交渉会派からはずそうというのですから、

露骨な党利党略です。

また、住民から寄せられる議会に対する陳情。これまでは各常任委員会で審議され、採択不採択がはかられてきました。それを議員に文書配布するだけにとどめ、委員会で審議してほしいければ、議員提出の請願の形をとれ!というものです。住民の陳情権を狭めるもので、とうてい認められません。

合併時の約束を守り  
住宅廃止計画は撤回せよ

淀江町にある大垣団地は、入居者の高齢化が進んでおり、「今まで付き合い支え合った人と別れたくない。知らない人の中で暮らすのが不安です」ここで暮らしたいという想いは当然であり、切実です。

合併に際し、大垣団地は老朽化が著しいことから、早急に建て替えるとしていました。合併5年後の平成21年11月の第12回の地域審議会でも、「五千石住宅の後に尚徳住宅、そのあとに大垣団地の建設になる、約10年ぐらい後に建てる」と市は説明していました。

合併時の約束です。今年度、突然の廃止計画は見直すべきです。



淀江町にある大垣団地

生徒にとって一番いい給食  
「自校方式」を廃止するな!

米子市は、財政面を理由に中学校給食の開始の際に、今、4つの小学校で調理している「自校方式の給食」を廃止する計画です。市の担当者は、「食育」の立場から言えば、自校方式が有意だと語っていましたが、まさに「食育」を教育と位置づける国の方針から逸脱しています。4つの小学校とセンターの整備は切り離して検討すべきと考えます。

センター方式だと、大きな建物や設備で建設費も高くつく。配送にもお金がかかる。生徒が食べるまでに時間がかかり、風味がさがる。などの問題があります。

産業廃棄物最終処分場は、  
住民意思を尊重し受け入れ拒否を

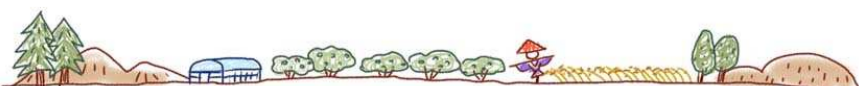
上泉、下泉の自治会の代表者が、産廃処分場を設置することに反対の全戸署名を米子市長に届けられました。市長は、「設置については、地元の理解が大前提」と答えています。地元の理解が得られねば造れないということです。

住民がいかに予定地に近いところに住んでいるか、現地に出向いて見てほしい、住民の声を聞いてほしい、その気持ちを受け止めて今後、市長は行動をすべきです。

「住宅リフォーム助成制度」に共感わく

共産党市議団はこれまで幾度となく「住宅リフォーム助成制度」について取り上げてきました。住宅の改修費用の一定割合を上限を定めて助成するというもので、全国ですでに500を超える自治体で取り組まれています。

今回も市長は受け入れを拒否しましたが、保守系最大会派・蒼生会の議員も一般質問で取り上げ、「(リフォーム助成は重要な)経済対策だと私も思う」と強調しました。第二会派・よなご会議の議員も地域経済振興にリフォーム助成を検討してはどうかと言及するなど、議員の間では確実に同制度への理解が広がってきています。



# 日本共産党議員の一般質問 9月議会



岡村えいじ 議員

## 消費税増税中止求めよ

先の通常国会で消費税増税（2014年4月に8%、15年10月に10%）が強行されました。当初、低所得者に配慮した再分配の仕組みを導入するとしていましたが、民主・自

民・公明の談合で先送りされてしまいました。低所得者に何の手立てもないままの増税では庶民の暮らしは守れません。岡村議員は「増税の撤回を求めよ」と市長に迫りました。市長は「持続可能な社会保障制度、安定財源の確保」に向けたものであり、撤回を求める考えはないと国言いなりの答弁。



石橋よしえ 議員

## いのちを守る生活保護と学力向上支援教室を求めて

石橋議員は今年前半に全国で11件22名の孤立死（餓死・凍死）があったこと、いのちを守る生活保護を求めて質問しました。郵便局やガス・水道のラ

イフラインの事業所との連携など、またその他の生活保護からの漏給防止策が取られているかと聞きました。福祉保健部長はガスの検針の方からの情報が2件あったものの福祉課が既に承知の世帯であったこと、特別な漏給防止策はないと答えました。

また「子が親の面倒を見るのは当たり前」と扶養義務の履行強化の動きがあるがこれは止めるべき、子の生活を守り、私的な家族関係に踏み込んで強要することを止めよと求めました。福祉保健部長は必要な調査は今後もしていくと改善の意思の無い回答でした。

次に生活保護世帯など貧困世帯の中学生の学力向上支援教室（無料塾）の実施を求めました。高校進学率が低く、生涯にわたり経済状態が悪い貧困の連鎖を断ち切るためです。福祉保健部長は関係する国の制度について、また米子市で実施するに於いての諸問題を研究している

と答えました。

## 陳情などに対する議員の態度

- ①香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書の提出について
- ②李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書
- ③災害瓦れきを受け入れないことを求める陳情書など6本

○賛成 ×反対		①	②	③
共産党	石橋 佳枝	×	×	○
	岡村 英治	×	×	○
	松本 松子	×	×	○
蒼生会	岩崎 康朗	○	○	×
	尾沢 三夫	○	○	×
	野坂 道明	○	○	×
	松田 正	○	○	×
	湯浅 敏雄	○	○	×
	渡辺 穰爾	○	○	×
	渡辺 照夫	欠席		
よなご会議	伊藤ひろえ	×	×	○
	稲田 清	○	○	○
	国頭 靖	○	○	○
	小林 重喜	○	○	○
	西川 章三	○	○	○
	矢倉 強	×	×	×
公明党	笠谷 悦子	○	○	×
	原 紀子	○	○	×
	安木 達哉	○	○	×
	安田 篤	○	○	×
一院ク	遠藤 通	×	○	×
市民派	中川 健作	×	×	○
仁	中田 利幸	○	○	×
ムスカリ	門脇 邦子	×	×	○
コモンズ	杉谷第士郎	○	×	×
虹	山川 智帆	○	○	○
新政会	松井 義夫	議長		
信	藤尾 信之	○	×	×

○意見書「香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書」「李明博大統領の言動に抗議し、竹島領土権確立を求める意見書」は中国や韓国に対し、激しく抗議をして防衛力や警備体制を強化し、必要な法整備もして領土を守れというものです。尖閣・竹島はいずれも歴史上も国際法上も正当な日本の領土ですが、その領有権が日本にあることを了解して貰うためには、日清戦争や日韓併合という侵略戦争、植民地化の不法性や誤りを認め、その上で歴史的な事実を突き合わせる必要があります。それには感情的な対立や緊張を高める事ではなく、理性的な外交交渉を積み重ねることではかどが開かれませんか。その立場で反対しました。

○震災がれきの受け入れに反対する陳情6本について、既に受け入れしないことに決まっているから不採択との声もありました。しかし陳情趣旨を受け止め、また被災地支援を求める内容にも応えるため、党議員団は趣旨採択を求めましたが、不採択となりました。



松本松子 議員

## 「子ども・子育て新システム」をやめ、公的保育を守れ

「子ども・子育て新システム」が「消費税増税法案」とセットで強行可決されました。これまでの児童福祉法では、

私立認可保育所の新設、修理、拡張などに、国は2分の1、市町村は4分の1の割合で補助していました。しかし「新システム」では国の補助はなくなりま

す。支援がなければ、認可保育所を増やすことはおろか、老朽化している園舎の建替えさえできません。断固反対する気はあるのか、と市長に迫りました。

「新システム」の実施は、消費税増税が前提のため、本格実施は2015年10月以降となります。どの子にも健やかな発達を保障するために、国に強く「新システム」の廃止を求め続ける必要があります。

お気軽に  
仕事を  
相談を  
仕事・  
くらしの  
悩み

## 日本共産党生活相談所

電話・Fax 32-5590

米子市富士見町136

- 岡村えいじ Tel 29-3475  
ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/o/>
- 松本 松子 Tel 56-2504  
ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/m/>
- 石橋よしえ Tel 28-7598  
ブログ <http://jcpy.sakura.ne.jp/i/>